



半世紀続いてきたロングトレイルのいま。

つなぐ東海自然歩道

長距離自然歩道 第一号。

『東海自然歩道をもっとみんなで歩けるようにしたい。歩きたいよね。全線調査しよう!』

という土屋智哉の一言から始まった東海自然歩道全線調査と再生の動き。

長く歩く旅を愛する皆さんと、地元で東海自然歩道を歩く皆さんと一緒に、

これからの東海自然歩道や長く歩く旅について話すいちにち。

2024.2.24 (土)

開場

11:00

開演

11:30

会場

なごのキャンパス

〒451-0042 愛知県名古屋市中区那古野2丁目14-1

事前申込

参加費：1,000円
Peatix：右のQRコードから
メール：toreken.event@trailblaze-hi.org
F A X：03-3560-2047



懇親会

参加券(希望者のみ) / 3,000円
[軽食+フリードリンク]
19:00~21:00 @ アイリッシュパブ ケルツ
事前予約制 / 先着30名

ランチ

ランチの予約を希望される方は、
お申込時に右のメニューからお選びください。

A

なごのや からあげ弁当
[800円]

B

なごのや 生姜焼き弁当
[850円]

*参加費(入場券)は必須です。*昼食は、近くの商店街からデリバリーしてもらいます。*昼食券はご希望の方のみですが、希望されない方は近くの商店街に買いに行くか、事前に購入してきてください。*懇親会には登壇者も全員参加します。もっとアレコレ話したい方はぜひご参加ください。*昼食券、懇親会参加券は2月16日(金)13:00まで販売します。それ以降の受付はできません。*購入完了後の変更やキャンセルはご遠慮ください。

開会の挨拶

「ロング・デイズ・スタンス・トレイル」と「スルーハイキング」

舟田靖章＋清田勝

進行／長谷川晋

ブース紹介（各地のトレイルの紹介）

フリータイム／ランチタイム

長距離自然歩道第1号

「東海自然歩道」実地調査報告

東京－愛知：勝俣隆・鈴木栄治

愛知－三重：長谷川晋・中島悠二

三重－大阪：丹生茂義・土屋智哉

「東海ハイキングギャング」アメリカへ。そして今、地元を語る

山中二郎＋鈴木一路

進行／土屋智哉

フリータイム（おしゃべりタイム）

長距離自然歩道第10号

「東北太平洋岸自然歩道」

夫婦で歩いた「みちのく潮風トレイル」

濱口哲＋濱口聡子

閉会の挨拶

日本のナショナルトレイルと言える長距離自然歩道の構想は、1968年にアメリカのアパラチアン・トレイルの視察がきっかけとなり、環境省(当時：厚労省)の大井道雄氏を中心となりスタートした。「人間性の回復」を謳ったこの取り組みは当時大きな話題を呼び、1973年の東海自然歩道第一号開通に続き、九州自然歩道、四国自然歩道、近畿自然歩道など順次計画され開通。2019年には東北太平洋岸自然歩道、通称「みちのく潮風トレイル」が全線開通し国内外から多くのハイカーが訪れている。現在全国には10本の長距離自然歩道が存在しているが管理運営には課題がある一方、新型コロナウイルス感染拡大や地球環境の危機的状況なども踏まえ、今、自然環境への理解を深める教育の場としても、世界中でロングトレイルは注目されている。2024年、50周年を迎える日本のナショナルロングトレイル第二号・東海自然歩道も様々な課題を抱えつつ、現地調査の際には海外からのスルーハイカー何人かに出会うなど、多くを魅了するポテンシャルが高いトレイルだ。今回、東海自然歩道の現状報告と、ロング・デイズ・スタンス・トレイルとスルーハイキングを愛する皆さんと一堂に会し、東海自然歩道や日本の長距離自然歩道を盛り上げて行こう、という企画を実施する。長く歩く旅を愛する皆様、ぜひ名古屋にお出かけください。

Trail booth:

- 東海自然歩道
- 九州自然歩道
- 信越トレイル
- みちのく潮風トレイル
- あまのみトレイル
- ふくしま浜街道トレイル
- 八戸十和田トレイル(仮)
- *未開通
- 北海道東トレイル
- *未開通

Speakers:

- 舟田靖章：農家(百姓)
- 清田 勝：peg. 店主
- 長谷川晋：トレ研 代表
- 勝俣 隆：トレイル研究家
- 鈴木栄治：信越トレイルクラブ 事務局員
- 中島悠二：写真家
- 丹生茂義：nyuu cofee 主宰
- 土屋智哉：ハイカーズデポ オーナー
- 山中二郎：Blue traverse gear 主宰
- 鈴木一路：Moos 植田本店サブマネージャー
- 濱口 哲：みちのく潮風トレイルハイカー
- 濱口聡子：みちのく潮風トレイルハイカー

